

株式会社ピーシー・ブレイン お問い合わせ電話番号:047-311-6677

## ☆今月のメニュー

～ 新年のごあいさつ ～  
代表取締役 盛永哲也

■年間検索ランキングで  
振り返る 2011 年

■2011年の急上昇ワード

■スマートフォン対応実践編  
～基本のポイント

- ・ PC サイトをベースに
- ・ メニュー・ナビはシンプルに

ここでは新年の休み明けのタイミングでやっておきたいことを挙げておきます。チェックリストのような形で活用してもらえればと思います。

(1)冬季休業のお知らせの削除  
いつまでも掲載したままにならないように注意しましょう。スマートフォン、携帯向けサイトやブログ、自動返信メールなども忘れないように。

(2)コピーライトの年号変更  
コピーライトの年号表記は必須ではありませんが、ホームページ上で最新年・更新年を記載している場合にはその年号を修正しましょう。

(3)年数が増える「創業〇年」「〇年の実績」などの表記  
ヘッドコピーや実績、経歴紹介の箇所で良く見られますが、創業からの年数などを表記している場合にも、経過年数が変わるので変更しましょう。これは修正を忘れやすい箇所の一つです。  
更新日の明記されたお知らせ記事などでは問題ありませんが、いつの記事かわからないページでの相対年数表記は混乱の元になりますので修正しましょう。

(4)フォームなどの年月日の選択  
フォームに日付(年)の入力欄などがある場合、には選択肢をチェックしましょう。  
また、2012年はうるう年であることも忘れずに！



## ～謹賀新年～

昨年は格別の御厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本年も社員一同、皆様にご満足頂けるサービスを心がける所存でございますので、何とぞ昨年同様のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

皆様のご健勝と貴社の益々のご発展を心よりお祈り致します。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

新年は1月5日から通常営業とさせていただきます。

平成24年 元旦

株式会社ピーシー・ブレイン  
代表取締役 盛永哲也



## 年間検索ランキングで振り返る 2011 年

2011年の年間検索ランキングが各社から発表されました。

全体的な傾向としては、前年のランキングを基本的には受け継いでいますが、3月に発生した震災やその後の原発、停電などの影響は大きく、関連したキーワードもかなり検索されています。

では、各社のランキングをチェックしながら2011年～今後にかけての傾向を読み解いてみましょう

### ■グーグルのランキング

#### ★ 総合

1. Yahoo (2位)
2. YouTube (1位)
3. mixi (4位)
4. Facebook (-)
5. amazon (6位)
6. 楽天 (7位)
7. twitter (8位)
8. gmail (10位)
9. ニコニコ (-)
10. 翻訳 (-)

総合のランキングは、上位は例年通りの「Yahoo!」や「YouTube」「mixi」といったインターネット関連サービスです。

それらを追いかけるように、2010年頃から国内でも急速に普及してきたソーシャルメディア関連の「Facebook」「Twitter」がランクインしています。2年連続でランクインしたことからサービスの定着が伺えます

▼Google 年間検索ランキング 2011  
<http://www.google.co.jp/press/zeitgeist2011/>

▼その他のキーワード  
「ニコニコ」は「ニコニコ動画」という日本の動画配信サービスです。これはYouTubeとは異なり会員登録が必要なサービスですが、その代わりに会員が動画に対してコメントを書き込むことができ、そのコメントを他の会員も参照できるという機能を持ったサービスで、若年層を中心に2250万人もの会員を有しています。2011年は国会中継でも利用されたことで話題になりました。

### ■ヤフーのランキング

ヤフーでも同様にランキングを発表しており似たような内容になっています。ヤフーの場合は、PC版、スマートフォン版、携帯版の3つのランキングが発表されています。

モバイル向けでは、モバゲー、GREEなどのゲームサービスがランクしている点が興味深いですね。



【PC版】



【スマートフォン版】

### 【携帯ランキング】

1. mixi
2. モバゲー
3. YouTube
4. GREE
5. 2ちゃんねる
6. 楽天
7. Twitter
8. Google
9. 地震
10. Amazon

モバイルに特有

▼2011年間検索ワードランキング(ヤフー)  
<http://searchranking.yahoo.co.jp/ranking2011/>

株式会社ピーシー・ブレイン

〒270-2253  
千葉県松戸市日暮 1-2-6  
勝どきビル3F

電話番号  
047-311-6677

Fax  
047-311-6678

E-mail  
info@pcbrain.co.jp

受付時間:  
9:00～17:30

地域で一番ネットを使った商売に  
詳しいコンサルティング企業

- Web マーケティングコンサル
- ネット集客支援
- ホームページ制作
- SEO リフォーム
- WEB システム開発



当社 Web サイト  
:  
<http://www.pcbrain.co.jp>  
<http://www.webquick.jp>



## 2011 年の急上昇ワードは

### 急上昇ワード

1. 地震
2. 停電
3. 放射能
4. 原発
5. 東京電力
6. iPad 2
7. iPhone5
8. セシウム
9. Facebook
10. Google+

Google は総合ランキングとは別に、「急上昇ワード」と呼ばれる、前年と比べて検索ボリュームが急上昇したワードも発表しています。

ここには、東日本大震災に関連したワードと、アップル社の新製品 (iPhone, iPad) に関するワードが多く出現し 2011 年を表すキーワードになっています。

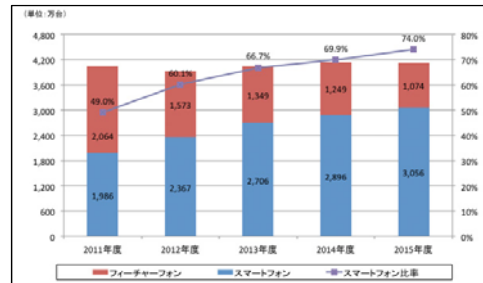
右図は期間内での検索数の推移。急上昇の様子が分かります。



## モバイルあれこれ ～ スマートフォン対応実践編(1)

個人での利用を中心に普及の始まったスマートフォンですが、企業内での利用・普及も進み、もはや無視できない規模・割合になってきています。これまでも携帯電話(フィーチャーフォン、ガラケーと呼ばれる国内キャリアが販売している従来からの携帯電話)向けの対応が問われたように、今後はますますスマートフォン向けサイトへの投資、対応が加速してくるでしょう。

2010 年から 2011 年にかけて、スマートフォンの市場規模は急成長しています。MM総研が 2011 年 7 月に発表した市場予測によれば、2011 年度の携帯電話出荷台数は前年比 7.6%増の 4,050 万台が見込まれます。2012 年度は 3,940 万台と減少しますが、2013 年度: 4,055 万台、2014 年度: 4,145 万台、2015 年度: 4,130 万台となり、今後は 4,000 万台規模での推移が続くという見通しです。



このような調査結果からも、今後はスマートフォン対応を進めてゆくことが、企業や事業者にとっては課題になってくると考えられます。

### ▼スマートフォン対応のポイント

では、具体的にスマートフォン対応を進めて行く上では次のようなポイントがあります。

- 基本は PC サイトベースで
- メニューやナビはシンプルな構成に(絞り込む)
- リンクはより分かりやすく(一目で認識できる)
- 指先での操作を考慮してスペースを(行間、余白)
- サイズは固定せずに可変を前提としたレイアウト

• Flash は使わず置き換える。むしろ HTML5 が良い

### ▼基本は PC 向けホームページで

ホームページのスマートフォン対応といった場合、対応範囲や方法にはいくつかの選択肢があります。

大手ポータルサイトのようにサイト全体を完全にスマートフォン専用サイトとするケースももちろんありますが、一部は PC サイトを流用して、専用ページと組み合わせた構成で提供する方法もあります。

資本力がある一気に対応ができるケースは別として、最も進めやすいのは既存のホームページ(携帯サイトではなく PC 向けサイトです)をベースに対応を進めてゆくやり方です。スマートフォン専用のコンテンツやサービスを提供するのでなければ、手間やコスト面でもっとも合理的です。

もともとスマートフォンは従来の携帯とは異なり PC と同等のブラウザを搭載しているため、PC 向けのホームページの一部を除いて構成要素は大きく変わらないのです。キャリアや端末を細かに意識する必要もないのです。

携帯サイトをベースにすると、独自に拡張された機能(例えば絵文字やアクセスキー)や操作を変換するだけでも手間になってしまうので、PC 向けホームページをベースにする方法がおすすめです。

### ▼メニュー・ナビはシンプルな構成で

基本構成は PC サイトをベースにした方が良いのですが、画面自体はまだまだ PC に比べると狭いので、メニューやナビゲーションには工夫が必要です。

スマートフォン向けサイト・ページでは、左ナビやヘッダ、フッターなどに表示していたナビゲーションは省略したすっきりとしたレイアウトにした方が使い勝手は格段に良くなります。このあたりは、Yahoo!や大手ブログサービスのスマートフォンサイトが参考になります。

ニュースレターを讀んでの感想、取り上げて欲しいテーマ、相談など、ぜひご意見をお聞かせ下さい！  
→ FAX:047-311-6678 / 電子メール: info@pcbrain.co.jp

## 株式会社ピーシー・ブレイン

発行責任者: 高山卓巳  
〒270-2253 千葉県松戸市日暮 1-2-6 勝どきビル3F

TEL: 047-311-6677 FAX: 047-311-6678 Email: info@pcbrain.co.jp

